

平成 22 年 3 月 8 日

足立区立西新井中学校

校長 笹子隆雄 様

西新井中学校開かれた学校づくり協議会

会長 當麻 三左衛門

## 平成 21 年度 学校関係者評価書

### 1 自己評価書全般について

#### 重点的な取組事項 1 新学習指導要領の趣旨を生かした、確かな学力の定着と向上

達成度 (おおむね良好) と評価する

授業改善及び新学習指導要領に対応した学力向上については、研究授業を通じて授業力の向上を図るための研修を定期的実施しています。生徒の授業評価も、4段階で3.4の評定は、その成果と判断できません。また、毎週の放課後学習や夏季・冬季休業中の長期にわたる学習教室の実施は、生徒の学力向上に向けた学校の姿勢がうかがえます。

確かな学力の向上を図るには、家庭学習の一層の充実が必要と思われます。そこで家庭との連携を図った学習習慣の定着を期待します。

#### 重点的な取組事項 2 子供との信頼関係に基づく生徒指導の充実

達成度 (おおむね良好) と評価する

問題行動を未然に防止するため、日頃の規律を徹底しながらも生徒との信頼関係を地道に築いていく必要があります。西中においては日頃から礼法や身なりの指導に力を入れ、信頼関係づくりに向けたスキルを、「構成的グループエンカウンター」や「教育相談研修」を通して研修しています。また、生徒の声を聞くために「悩み事アンケート」を年2回行い、生徒の声に耳を傾けています。現在、授業も落ち着いて行われ、課題を抱えた生徒の姿も殆ど見られなくなったのは努力の成果と思われます。

来年度以降も、問題行動についての生活指導に気を抜くことなく努め、不登校生徒の減少にもより積極的に取り組んでほしいと思います。

#### 重点的な取組事項 3 教職員の専門性・資質・人間性の向上

達成度 (十分に達成) と評価する

「生徒の意欲を引き出すための授業改善」をテーマに校内研修を行っています。また、授業力を身につけることを学ぶ「授業改善プロジェクトチーム」の設置には、人材育成に向けた学校の姿勢がうかがえます。また、新たに「構成的エンカウンター」や「教育相談研修」も資質向上につながります。年2回の「教員自己診断」も、自己能力の達成度を確認する機会となっています。

さらに若手教員が増えることが予想されます。組織的な人材育成をお願いします。

#### 重点的な取組事項4 教育環境の整備

達成度（十分に達成）と評価する

学校図書館の整備・学校図書館支援員の配置・新刊本紹介コーナーの設置など、読書環境の充実についてはこの2年間で格段に進んできました。また、生徒の学習意欲を向上させるための少人数教室の整備、掲示の工夫などの学習環境の整備、プチ美術館・フォトギャラリー・廊下の花の設置など落ち着いた校内環境の実現に努めました。また、「フラワーボランティア活動」や「美化点検週間」など、生徒が意欲的に美化に向かう機会を設けました。その他、「美化ボランティア」では、地域・保護者・生徒・教員による教育環境の整備に取り組む学校の姿勢を広く示しました。

今後も、子どもたちが目指している「足立区一きれいな学校」に向かい、努力してほしいと思います。

#### 重点的な取組事項5 豊かな成長を図る地域協働型の学校経営の推進

達成度（十分に達成）と評価する

生徒の豊かな心をはぐくむために、今年も数多くの地域行事や校内でのボランティア活動に取り組み、延べ974名の生徒が参加しました。生徒に奉仕の精神を学ぶ場として教育的効果は大きいと思われます。また、新たな取り組みとして休日開催の授業参観、「出前学校説明会」や「体験部活動」（インフルエンザの影響で今年度は中止）は、保護者や地域の方々、近隣小学校に西中をより知ってもらう機会となっています。

また、毎月発行される「学校だより」「ホームページ」のこまめな更新は、学校からの貴重な情報提供になっています。

ボランティア活動については、幅広いより多くの生徒が参加を促すような工夫をしてほしいと思います。

## 2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

学力向上においては、家庭と連携して家庭学習の充実が必要です。また生活指導面においては、落ち着いた生活態度、学校環境が整いつつありますが、不登校生徒の減少は課題を残しています。

開かれた学校づくり協議会は、今後も必要な支援を行っていきます。保護者や地域からの協力も求め、PTAや地域の教育力を十分に活用し、よりよい学校づくりをともに進めていきたいと思っています。

## 3 その他

学校教育目標に「よく考え知性を磨く」「学びあい品性を高める」「進んで体力をつける」の3つを掲げています。「知性」「品性」の面では学校の努力が認められます。さらに「体力」の面においても重点的に取り組んでいってほしいと思います。

今年度も、落ち着いた生活環境・学習環境をつくり出す努力を地道に進めてきたものにとらえています。様々な取り組みを行い続けた結果、来年度は「抽選校」になるに至りました。この間の学校努力が、地域だけにとどまらず、広く足立区内に認められたととらえられます。

これからは今まで以上の期待と責任が学校によせられてきます。開かれた学校づくり協議会は、今後も学校とともにその責任を果たす所存です。